

サッカーの前に、 生き方を教えたい。

宣教師 コスタ・ケラー Costa Keller



ペルー生まれのコスタさんは、筑西市でサッカースクールを開き、10年にわたり子どもたちと向き合ってきました。コスタさんがサッカーの技術と同じくらい大切にしているのは、人としてどう在るかということ。挨拶、礼儀、仲間や家族への敬意など、ピッチの外で身につく力が、子どもたちの未来を支えると信じています。

「サッカーは、子どもたちにとって、人生の練習でもあります。そして、その土台は神様の愛とイエス・キリストが教えてくれた生き方だと思っています」。その言葉どおり、コスタさんの指導は勝敗を超え、子ども一人ひとりの成長に目を向けます。初心者も、他のクラブの選手も、誰にでも扉は開かれている。筑波山を望むこのまちで、走り、転び、学ぶ時間が、子どもたちの背中をそっと押していく。スポーツを通じたおすそわけが、今日も続いています。

■ コスタさんのおすそわけは、
サッカーの楽しさや人としての生き方、希望を
分かち合うことです。

連絡先は、Instagram: @keller.costa

Instagram

